

岡山大学が開設する特別の課程（履修証明プログラム）

本学では、2025 年 11 月現在において、以下の 4 つの「特別の課程（履修証明プログラム）」を開設しております。

各プログラムの詳細は、別紙チラシ等をご覧ください。

- 「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム（大学院保健学研究科）
- 実践的 AI・セキュリティ講座（工学部）
- デジタルヘルス人材育成プログラム（ヘルスシステム統合科学研究科）
- 特別支援教育指導者養成プログラム（教育学部）

社会連携

特別の課程（履修証明プログラム）

特別の課程（履修証明プログラム）制度は、学校教育法に基づき、社会人等の学生以外の方向けに開設される課程であり、講習や授業科目を組み合わせるなどして体系的に編成した60時間以上の課程です。この課程を修了した方には、岡山大学から履修証明書が交付されます。

なお、特別の課程は単位修得が可能な課程があります。くわしくは各課程のWEBページをご確認ください。

受講料

原則1時間につき1,000円

各課程は総時間数60時間以上で編成されています。

※ただし、受講料が異なる課程もあります。

選抜方法

要・入学資格

該当する課程

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

【プログラムの目的】

周産期医療、地域母子保健に関与するスタッフのスキルアップ、職場復帰のためのリカレント教育、産科医療における即戦力育成に向けて、助産学生、大学院生と現役助産師とが、共に学ぶ中で、世代を越えたコミュニケーション能力を身につけ、離職防止を図ります。

【プログラムの内容】

周産期医療、生殖医療、子育て支援などの各分野の現場の講師による講演と、超音波シミュレーション装置を用いた実技、死産児のケアの演習、児童虐待予防プログラムのファシリテーター体験などを行います。また、NICU、不妊クリニック、子育て支援グループなどにおいて、見学やボランティア活動を行います。各種のシミュレーション装置などによる時間外学習やe-ラーニングによる受講を施行します。

実践的AI・セキュリティ講座

【プログラムの目的】

社会人(主に県内の企業等に所属する技術者)の学び直し及び、キャリアアップの支援を目的とし、社会人がIoT・AI・セキュリティ等の新しい情報技術を学ぶことができる教育プログラムを実施することで、Society5.0に向けたIoT・AIのセキュアな活用の促進とそれを担う社会人人材の能力の底上げを目指します。また、成長分野(半導体、電池、医療・福祉等)企業がDX化を社会実装するための集約的な課題を解決する(ヒントとなる)演習を開催します。

【プログラムの内容】

企業へのアンケート調査結果から社会的ニーズに応えた各科目（IoT・AI・セキュリティ）で入門基礎応用までのレベルに合わせた専門的なVoD教材による24の授業科目と、それをスキルとして習得するため、実際にデバイスやプログラミングを用いた演習と企業の課題解決につながる実践的な演習を受講します。また、IoT・AI・セキュリティのそれぞれの観点から系統的に学ぶことができるよう一部科目を抜粋した「IoT・AI」、「IoT・セキュリティ」、「AI・セキュリティ」の3つのサブコースも設定します。

デジタルヘルス人材育成プログラム

【プログラムの目的】

ITとヘルスケアの両方についての知見を併せ持ち、国内外の成長分野であるデジタルヘルス産業における新規事業開発・起業、さらには医療機関・介護施設等での業務のDX化を図れる「デジタルヘルス人材」を育成します。

【プログラムの内容】

「ヘルスケア人材（医師、看護師等、医療・介護分野の国家資格保有者等）」、「IT人材（エンジニア、プログラマー、webデザイナー等）」、「新規事業開発人材（既存の一般企業における新事業開発担当者等）」を受講対象者として、①ヘルスケア関連分野の教育プログラム、②IT関連分野の教育プログラム、③起業・事業経営に関する教育プログラム、④ヘルスケア／IT人材のネットワーク構築につながる実践的プログラムを提供します。

特別支援教育指導者養成プログラム

【プログラムの目的】

特別支援学校教諭免許状取得のために必要となる幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を持つ者を対象として、精深な程度において特別支援教育に関する専門の事項を教授することにより、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者及び病弱者に関する教育の領域）取得要件を備えるとともに特別支援教育分野のニーズに応えることのできる人材を育てることを目的としています。

【プログラムの内容】

岡山大学教育学部において開講されている特別支援教育に関する専門科目を系統的に履修することで、特別支援学校教諭一種免許状を取得できるようにしています。一部、教職大学院の科目を履修することで、教職大学院進学への道を開きます。

- ▶ 受験生の方
- ▶ 在学生・保護者の方
- ▶ 卒業生の方
- ▶ 企業・研究者の方
- ▶ 社会人・地域の方

- ▶ 岡山大学について
- ▶ 学部・大学院・病院等
- ▶ 教育・学生生活・就職
- ▶ 研究
- ▶ 社会連携
- ▶ 国際交流
- ▶ 入試

- ▶ サイトマップ
- ▶ このサイトについて
- ▶ プライバシーポリシー
- ▶ 学内教職員専用ページ



© Okayama University

「妊娠中からの母子支援」 即戦力育成プログラム 26

産科・母子スタッフのためのリカレント教育プログラム

2026年4月開講

ZOOM開催併用

1st season FINAL
長年の感謝を込めて

学ぶことは止まらない!! 全国からオンライン受講できます!

産科の最新知識と 超音波検査・新生児蘇生

- 胎児計測、成長の評価とスクリーニング
- 3D超音波検査による胎児の観察と胎児への愛着形成促進
- マタハラ、産後クライシス、DV
- 新生児の蘇生の知識と技術
- 社会的ハイリスク妊産婦

プレコンセプションケア 包括的性教育

- プレコンセプションケア支援
- 学校での包括的性教育

個人枠に加え**グループ枠**
でも募集します!

2~5名のグループでお申し込み
下さい。同じ施設でなくてもOKです!

基本的なスキルを獲得
コンピューター操作
臨床研究
プレゼンテーション

不妊症や流死産女性への支援

- 不妊症、不育症に関する医学的知識
- 不妊症、不育症カップルに対する支援能力
- 死産を乗り越えるためのグリーフケア
- 生命・生殖に関する倫理観の形成
- 「年齢と妊孕性」啓発の講師養成

Instagram
X(旧Twitter)

Facebook

情報発信中!

「助産ネット」で検索を

新生児・子育て家族への支援

- 産前産後のメンタルヘルス
- 子育て支援への社会的資源の活用法
- 子育てグループへの参加体験
- 産後うつ、児への虐待予防、障害児家族支援のための地域連携

助産師・看護師が総合的な
実践能力を獲得する1年間の
リカレントプログラム

年間約30回の集中セミナーや
グループワーク
e-ラーニングでの学習や
休日・夜間を利用した演習・実習

使い放題

スキルアップ・ラボ

超音波シミュレーション、蘇生モデル

e-ラーニング・コンテンツ

24時間、いつでも、どこでもスマホで学習

リプロカフェ

専門書を含め4,000冊の書籍とDVD

カフェでゆっくりとネットや読書

修了後も継続して、ご使用可能です。

「学ぼう! 妊娠・子育て」プロジェクト

助産師・保健師・子育てスタッフ・学生などが
ぶらっと立ち寄り、垣根を越えて楽しく学ぶ場

岡山大学 たまり場構想

岡山大学病院(奥)と
医学部保健学科棟(右手前)

友達と一緒に
キャンパスライフ

◆募集定員

個人枠:15名程度 グループ枠:5グループ程度
※応募者多数の場合は選考。(個人枠が優先)

◆募集期間

2025年11月17日(月)~2026年1月19日(月)

◆募集要項 ホームページよりダウンロード



2025年度プログラム実施中
(詳しくはWEB上でご覧ください)

詳しい情報は、助産ネット ホームページで
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>



超音波シミュレーター 3D超音波検査



◆募集定員

個人枠:15名程度 グループ枠:5グループ程度

※応募者多数の場合は選考。(個人枠が優先)

◆募集期間

2025年 11月17日(月)～2026年 1月19日(月)

◆募集要項 ホームページよりダウンロード



流死産の方への
パンフレット



グリーンケア
テnderラビングケア



プレコンセプションケア
パンフレット
啓発サイト

講義やe-ラーニングで知識アップ

- 産科超音波の基礎
- 妊娠合併症の管理
- 正常分娩の落とし穴
- 乳房管理
- 新しい分娩管理
- 禁煙指導
- 赤ちゃんを観る
- 産後クライシス
- NICU卒業児のその後
- マタハラ
- 理学療法士の視点
- 漢方を知る
- メンタルヘルスと虐待予防
- 遺伝を知る
- 北米、北欧型子育て支援
- ネウボラ
- 性教育の実践
- LGBTQの基礎
- 生殖医療の基礎知識
- がん患者の妊孕性
- 卵子の老化と妊孕性啓発
- 妊娠中からの虐待予防
- 産産婦と乳がん
- 妊婦のDV、デートDVの実態
- 不妊症、不育症女性の心理

NEW!



ベビーマッサージ



漢方の授業



乳房ケア演習・妊娠婦と乳がん

卵子凍結・提供、NIPTなどの生命倫理
不妊・不育・風疹予防・子育て支援
虐待防止など 各種の公開セミナー

演習・実習で実技能力アップ

- 産科超音波実技
- 新生児蘇生法
- 乳房ケア
- 流死産のケア
- 不妊・不育カウンセリング
- ベビーマッサージ
- 地域での子育て支援
- SNSでの発信
- 臨床研究



子育て広場で学ぶ



新生児蘇生



各種のグループワーク



オンライン授業



妊娠中からの虐待予防
SNSでの発信体験



縫合の練習



ライフプランを考えよう
妊孕性啓発マンガ
パンフレット
ダウンロード可能



LGBTQ・性別不合の基礎知識
個「性」ってなんだろう?
(あかね書房)発売中

- ▼e-ラーニングで遠隔地
や時間外でも授業に参加
- ▼現場の講師による実践
的な演習や実習
- ▼超音波シミュレーショ
ン装置、新生児挿管モ
デルで思う存分練習

自主学习スペース
も充実
各種の動画教材や
4,000冊の図書

「学ぼう! 妊娠・子育て」
プロジェクト
登録者も募集中!!

通年受講ができない方も、
一部の公開講座への参加は可能です。

申し込み・問い合わせ(お問合わせはメールをお勧めします。)

◇「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局(医学部保健学科棟2階)

E-mail: josan@cc.okayama-u.ac.jp Tel: 086-235-6538

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局

詳しい情報は、助産ネット ホームページで <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>



岡山県受託事業

実践的 AI リテラシー

講座

2025

6/1

開講予定

※裏面参照

★
募集期間

4/1 (火) ~ 30 (水)

ラーニング：VoD教材受講(全24科目)

演習：全7題目+ワークショップ2回

オンライン事前説明会：4月7日(月)14:00～15:00(予定)

参加用 URL: <https://forms.gle/WAeSsZAnBpY5YFTH8>

オンライン事前説明会への参加はこちら→



担当教員：教授 野上保之 / 特任准教授 石原信也他

対象者 1. 岡山県内に本社又は製造事業所がある企業(自営を含む)に勤務する方

2. 対象者 1 以外の方も応募可能ですが、定員を超えた場合は対象者 1 が優先されます



実践的 AI・セキュリティ講座とは？

2025ver.

実践的 AI・セキュリティ講座は、AI・セキュリティなどを軸として、20 を超える専門的な VoD 教材による WEB 講義と、最新かつ具体的なデバイスやプログラミング手法を用いた演習を通じて、ゼロトラスト時代のセキュリティも意識した AI・ICT の活用に繋がる実践的な DX の推進・底上げを狙う社会人人材育成プログラムです。修了された方には履修証明書を発行します。皆様ご参加お待ちしております。

VoD 講座ラインナップ IoT

IoT に関わる基本技術

インターネット通信プロトコルの基礎
電磁ノイズ対策と EMC 設計
IoT 情報理論
無線通信
センシング工学の基礎
IoT 機器構築例
(移動する監視カメラレスキューロボット)
移動体用電動モータ入門

AI

AI・機械学習等の解析技術

モノづくり分野におけるデータマイニング
ニューラルネットワーク入門
機械学習の基礎としての統計的推測
音声情報処理と AI
画像処理と AI
自然言語処理と AI
医用画像情報処理
ニューラルネットワークの基礎

Security

セキュリティの概要と 攻撃・防御技術

マルチメディアセキュリティ
セキュア通信プロトコル
サイバー攻撃
サイバーセキュリティリスクマネジメント
オペレーティングシステムセキュリティ
IoT デバイス用暗号
ハードウェアセキュリティ
セキュリティガイドライン
攻撃者視点で考えるセキュリティ

4つのコースからお選びください

各コースの内容等の詳細はウェブサイトをご覧ください。

内容	定員	受講料
フルコース	20 名	118,000 円
IoT・AIサブコース	10 名	66,000 円
AI・セキュリティサブコース	10 名	74,000 円
IoT・セキュリティサブコース	10 名	71,000 円

※受講料は非課税です

※領収書の発行は可能です

(申込み時にご依頼ください。但し請求書の発行は対応しておりません。)

受講期間：2025年6月1日～2026年1月31日

演習開講時間：9:00～16:00

昼休憩：12:00～13:00

会場：自然科学系総合研究棟 6 階 6 区画 他

演習ラインナップ

第 1 回 LinuxOS 他	25/6/17
第 2 回 プログラミング言語 Python	7/15
第 3 回 画像処理・音声入出力	9/16

課題実践演習 第 4 回 画像 AI 実践 10/21

課題解決演習 第 5 回 ミニハッカソン (AI) 11/18 ※1

課題実践演習 第 6 回 セキュリティ実践 12/16

課題解決演習 第 7 回 ミニハッカソン (セキュリティ) 26/1/20 ※1

ワークショップ① 8 月予定 ※1

ワークショップ②(ミニハッカソン) 11 月予定 ※1

※1 公開講座
日程・開催場所等変更になる可能性があります。

イベント演習ラインナップ

アイデアソン + ハンズオン	(8 月中旬予定) 2 日連続
ハッカソン	(9 月下旬予定) 2 日連続

お申し込みはこちらから！

各コース詳細、受講申込についてはウェブサイトをご覧ください

<https://oias-bp-program.studio.site/>

<https://isec.ec.okayama-u.ac.jp/oias/>

QR コードでもアクセスできます→



お問い合わせ

場所：岡山大学工学部電気通信系学科工学部2号館

実践的 AI・セキュリティ講座事務局

電話番号：086-251-8255

メールアドレス：oias@okayama-u.ac.jp



岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

国立大学法人岡山大学

大学院ヘルスシステム統合科学研究科主催（履修証明プログラム）



デジタルヘルス 人材育成プログラム

令和7年度
受講者募集

定員 **50** 名

（最大100名）

新事業創出・起業・医療機関等DX等に必要な
デジタル&ヘルスケア&経営
分野の幅広い知識をオンライン中心で習得可能

募集期間

令和7年**9月1日**（月）～令和8年**1月9日**（金）

【開講期間】令和7年10月1日（水）～令和8年3月31日（火） 【受講料】90,000円

プログラムの詳細は特設ページをチェック

URL https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/social/recurrent/digital_health2025/



社会連携

SOCIAL

トップページ ▶ 社会連携 ▶ 特別の課程 ▶ 令和7年度 デジタルヘルス人材育成プログラム

令和7年度 デジタルヘルス人材育成プログラム

NEWS《お知らせ》

- 2025年10月6日 オリエンテーションは、11月7日(金)19:00～20:00に開催予定です。
- 2025年10月1日 開講いたしました。随時受付しておりますが、受講時間の確保のため受講希望者はお早目にお申込みください。
- 2025年9月1日 受講申込受付を開始しました。



プログラムの目的

ITとヘルスケアの両分野についての専門的知見を併せ持ち、国内外の成長分野であるデジタルヘルス産業における新規事業開発や起業、さらには医療機関・介護施設等での業務のDX化を図れる「デジタルヘルス人材」を育成することを目的とします。

受講対象者

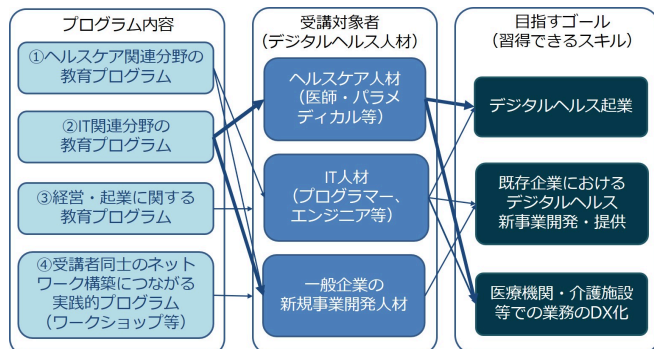
「ヘルスケア人材(医師、看護師等、医療・介護分野の国家資格保有者等)」、「IT人材(エンジニア、プログラマー、webデザイナー等)」、「新規事業開発人材(既存の一般企業における新事業開発担当者等)」を受講対象者として想定しています。

プログラム概要

プログラムは、①ヘルスケア関連分野の教育プログラム、②IT関連分野の教育プログラム、③起業・事業経営に関する教育プログラム、④ヘルスケア／IT人材のネットワーク構築につながる実践的プログラムの4つで構成されています。

ヘルスケア人材の皆様には主に上記②、IT人材の皆様には主に上記①、新規事業開発人材の皆様には上記①②を集中的に学んでいただくことをお勧めします。上記③④のプログラムは受講者全員の皆様に履修いただくことをお勧めします。

(プログラム概要イメージ)



開講期間

2025年10月1日(水)～2026年3月31日(火)

受講者資格

②付添来者に関する研修のありかまたは研修プログラムの有無を、エングレーブ

③デジタルヘルス事業に関心のある方

受講料

90,000円

45,000円 【本学学生・教職員】

※受講料のお支払いにつきましては、事務局より口座振込についてのご案内をメールにてご送付させていただきます。

定員

50人 程度

講義形式

①オンライン(ライブ配信および録画オンデマンド配信)

②対面

※基本的には①の講義形式で、一部②の講義形式になります。

受講により取得できる資格等

本プログラムは岡山大学の履修証明プログラムとなります。所定の時間を履修し、一定の成績を修めた受講者に対し、岡山大学が履修証明書を発行します。岡山大学の正規科目における単位・学位の取得はできません。

カリキュラム

岡山大学の教員および学外の有識者による充実した講師陣が担当します。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。

※なお、講義名、担当講師、講義時間は現時点における予定であり、今後、予告なく変更になる可能性があります。

受講申込方法

受付期間：2025年9月1日(月)～2026年1月9日(金)

下記の願書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入のうえ、

natsume-h*okayama-u.ac.jpまでメール添付でご送付願います。(*を@に変えてください)

[岡山大学「デジタルヘルス人材育成プログラム」履修願書\(Excel形式\)](#)

問い合わせ先

国立大学法人岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研究科
デジタルヘルス人材育成プログラム事務局
〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1
TEL:086-251-7775
夏目(natsume-h*okayama-u.ac.jp)(*を@に変えてください)

特別の課程の関連ページ

令和6年度 デジタルヘルス人材育成プログラム

令和5年度 デジタルヘルス人材育成プログラム

令和4年度 デジタルヘルス人材育成プログラム



2026年度
特別支援教育指導者養成プログラム
(特別の課程)

履修生募集要項

岡山大学教育学部

問い合わせ先 岡山大学教育学系教務学生グループ
所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号
電話 (086)251-7602

※窓口の受付時間は平日の8時30分～17時00分(土、日、祝日を除く)です。
2025年12月26日(金)～2026年1月4日(日)は年末年始休業となります。

目 次

	ページ
特別の課程（特別支援教育指導者養成プログラム）概要	1
1 募集人員	3
2 出願資格	3
3 出願手続	3
4 選考方法等	5
5 確定した履修生の発表	5
6 科目等履修生の出願手続	5
7 そ の 他	5

岡山大学教育学部・教育学研究科のホームページアドレス

<https://edu.okayama-u.ac.jp>

特別支援教育指導者養成プログラム（特別の課程）概要

● 目 的

特別支援学校教諭免許状取得のために必要となる幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を持つ者を対象として、精深な程度において特別支援教育に関する専門の事項を教授することにより、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者及び病弱者に関する教育の領域）取得要件を備えるとともに特別支援教育分野のニーズに応えることのできる人材を育てることを目的とします。

● 開 設 期 間

2026年4月1日～2027年3月31日

● 教 育 課 程

(1) 開 講 科 目 ※開講科目については、当該内容から変更される可能性があります。

特別支援教育に関する科目		授業科目	単位	選択・必修	修了要件	備考
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育概論	2	必修	2	
		特別支援教育史	2	選択		
		特別支援教育演習Ⅰ	1	選択		
		特別支援教育演習Ⅱ	1	選択		
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	知的障害者心理学概論Ⅰ	1	必修	16	知的障害者領域
		知的障害者心理学概論Ⅱ	1	必修		知的障害者領域
		知的障害者生理・病理学概論	2	必修		知的障害者領域
		肢体不自由者心理・生理・病理学概論Ⅰ	1	必修		肢体不自由者領域
		肢体不自由者心理・生理・病理学概論Ⅱ	1	必修		肢体不自由者領域
		病弱者心理・生理・病理学概論	2	必修		病弱者領域
		特別支援心理演習Ⅰ	1	選択		知的障害者領域
		特別支援心理演習Ⅱ	1	選択		知的障害者領域
		特別支援病理演習Ⅰ	1	選択		知的障害者領域
		特別支援病理演習Ⅱ	1	選択		知的障害者領域
		知的障害者教育課程・方法論Ⅰ	1	必修		知的障害者領域
		知的障害者教育課程・方法論Ⅱ	1	必修		知的障害者領域
		肢体不自由者教育課程・方法論Ⅰ	1	必修		肢体不自由者領域
		肢体不自由者教育課程・方法論Ⅱ	1	必修		肢体不自由者領域
		病弱者教育課程・方法論	2	必修		病弱者領域
		知的障害者指導論Ⅰ	1	必修		知的障害者領域
		知的障害者指導論Ⅱ	1	必修		知的障害者領域
		特別支援臨床演習Ⅰ	1	選択		肢体不自由者領域
		特別支援臨床演習Ⅱ	1	選択		肢体不自由者領域
		特別支援実践演習Ⅰ	1	選択		知的障害者領域
		特別支援実践演習Ⅱ	1	選択		知的障害者領域
第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	視覚障害者教育概論	1	必修	5	視覚障害者領域
		聴覚障害者教育概論	1	必修		聴覚障害者領域
		発達障害者教育概論Ⅰ	1	必修		発達障害者領域
		発達障害者教育概論Ⅱ	1	必修		発達障害者領域
		重度・重複障害者教育概論	1	必修		重複障害者領域
		特別支援教職演習Ⅰ	1	選択		視覚障害者領域
		特別支援教職演習Ⅱ	1	選択		視覚障害者領域
		特別支援教育支援演習Ⅰ	1	選択		聴覚障害者領域
		特別支援教育支援演習Ⅱ	1	選択		聴覚障害者領域
第四欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援教育実習基礎研究（特別支援学校）	1	必修	3	
		特別支援教育実習Ⅱ（特別支援学校）	2	必修		

教職大学院科目	インクルーシブ教育実践論Ⅰ	1	選択	0	6単位まで 履修可能
	インクルーシブ教育実践論Ⅱ	1	選択		
	視覚障害教育実践学A	1	選択		
	視覚障害教育実践学B	1	選択		
	聴覚障害教育実践学A	1	選択		
	聴覚障害教育実践学B	1	選択		
	特別支援教育病理の遺伝学	1	選択		
	特別支援教育病理の脳科学A	1	選択		
	特別支援教育病理の脳科学B	1	選択		
	特別支援の心理A	1	選択		
	特別支援の心理B	1	選択		
	特別支援臨床実践学A	1	選択		
	特別支援臨床実践学B	1	選択		
	知的障害教育実践学A	1	選択		
	知的障害教育実践学B	1	選択		
合 計				26	

(2) 履 修 方 法

教育課程は、特別支援学校教諭免許状の取得の有無により、履修コースⅠ又はⅡの2コースに分かれ、(1)の開講科目の中から、第一欄から第四欄及び教職大学院科目までの授業科目について、26単位以上を修得します。各コースの修了要件単位数は下記のとおりです。

なお、既に特別支援学校教諭二種免許状、一種免許状又は専修免許状のいずれかを取得されている方は履修コースⅡを取ることとなり、第四欄の科目が免除されますので、その3単位分を第一欄から第三欄及び教職大学院科目の中から更に修得することになります。

コース名	既得免許 → 希望免許	第一欄	第二欄	第三欄	第四欄	教職大学院科目	修了要件 単位数
履修コースⅠ	なし → 一種免許	2	16	5	3		26単位 以上
履修コースⅡ	二種免許 → 一種免許	2	8	3			26単位 以上
26単位以上							

第四欄の3単位については、特別支援学校において、教員として3年以上勤務した旨の証明がある場合、第一欄から第三欄の科目の3単位をもって、これに替えることができます。

(3) 授業の実施方法

- ① 通常、平日の授業時間（8：40～17：20）で授業を行います。
- ② ①のほかに、夏季等長期休業中の集中講義等による授業を開講します。

● 履修証明書

所定のプログラムを修めた者に対して、履修証明書を交付します。

● 教育職員免許状

本課程の修了者は、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者、肢体不自由者及び病弱者に関する教育の領域）を取得することができます。

1 募 集 人 員

募集人員
6人程度

2 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者で、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を有するもの又は2026年3月までに有する見込みのもの

- (1) 学士の学位（平成元年3月31日以前に教員として採用された者は除く）を有する者又は2026年3月までに学士の学位を有する見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2026年3月までに学士の学位を授与される見込みの者

（注）2の「出願資格」(2)に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（旧称：大学評価・学位授与機構）が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者
- ② 学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（旧称：大学評価・学位授与機構）が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

3 出 願 手 続

(1) 出 願 方 法

角形2号封筒を準備して「(5)出願に必要な書類等」を一括して入れ、封筒の表に所定様式の「出願書類提出先」を貼り付けて、必要事項を明記し、封筒の裏に「提出書類等の確認」を貼り付けてから、出願期間内に必着するよう提出先へ持参又は「簡易書留」として郵送してください。

(2) 出 願 期 間

2026年1月5日（月）から1月9日（金）17時00分（必着）

- （注）持参する場合の受付時間は、8時30分から17時00分までとします。
郵送する場合は、2026年1月9日（金）17時00分までに必着としますが、これ以降に到着したものは、2026年1月8日（木）までの消印のあるものに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。
また、発送時に、到着日時を必ず確認しておいてください。

(3) 提 出 先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号
岡山大学教育学系教務学生グループ
電 話（086）251-7602

(4) 出願上の注意

- ア 申込後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
イ 書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
ウ 出願書類に不備があるものは受理しません。
エ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
オ 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、願書の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
① 特 別 の 課 程 履 修 (入 学) 願 書	所定の様式に、志願者本人が自筆（黒のボールペン）で記入してください。
② 写 真 〔※①の所定欄に貼り付けて提出してください。〕	出願前3か月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した写真1枚（縦3cm×横2.4cm）を「①特別の課程履修（入学）願書」の所定欄にのりで貼り付けてください。 貼る前に、写真の裏に氏名を記入しておいてください。
③ 検定料の振込金 受取書（または利用明細票）	<p>検定料9,800円（振込手数料が別に必要です。）を下記指定口座へお振込みいただき、受領した振込金受取書または利用明細票を貼付用紙の様式に貼ってください。なお、振り込みの際は、ご依頼人名に頭に番号108を付けた「【108】+【志願者名（ご本人）】」を入力してください。</p> <p>ネットバンキングをご利用の場合、振込んだことが分かる利用明細票を印刷してください。</p> <p>出願書類を持参する場合に限り、検定料は振り込みではなく、現金持参することが可能です。なるべくお釣りが不要なよう御準備ください。</p> <p>検定料振込口座</p> <p>振込先 中国銀行 法界院支店（店番号104）</p> <p>口座番号 普通 2567159</p> <p>口座名義 <small>コクリツダイガクホウジン</small> 国立大学法人 <small>オカヤマダイガク</small> 岡山大学 <small>ガクチョウ</small> 学長 <small>ナス</small> 那須 <small>ヤストモ</small> 保友</p> <p>ご依頼人名 「【番号108】+【志願者名（ご本人）】」</p> <p>例) 「108 オカダイ タロウ」</p> <p>検定料の返還について</p> <p>次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の検定料は返還しません。</p> <p>1) 検定料を支払ったが、出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合</p> <p>2) 検定料を誤って二重に支払った場合</p>
④ 最終学校の卒業 （見込）証明書又は 修了（見込）証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
⑤ 学位授与（申請 受理）証明書	<p>2の出願資格(2)に該当する（見込み）志願者は、次のものを提出してください。</p> <p>〔学位を授与された（申請中の）志願者〕</p> <p>独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（旧称：大学評価・学位授与機構）が発行した学位授与証明書（学位授与申請受理証明書）を提出してください。</p> <p>〔学位の授与を申請予定の志願者〕</p> <p>短期大学長又は高等専門学校長が作成し、厳封した次の証明書を提出してください。</p> <p>ア 専攻科の修了見込証明書</p> <p>イ 学位の授与を申請する予定である旨の証明書（様式任意）</p>
⑥ 最終学校の成績 証明書	出身大学長等が作成し、厳封したものを提出してください。
⑦ 教育職員免許状 に関する証明書	<p>都道府県教育委員会発行の幼稚園、小学校、中学校又は高等学校教諭の教育職員免許状授与証明書又は在学する大学長等が作成した教育職員免許状取得見込証明書を提出してください。</p> <p>注) 複数の免許状を取得（見込）の場合は、いずれか1つの教育職員免許状に関する証明書を提出してください。</p>
⑧ 志 望 理 由 書	所定の様式に記入してください。なお、氏名は自筆（黒のボールペン）で記入してください。
⑨ 返 信 用 封 筒 （通知書送付用）	市販の長形3号封筒の表に、志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、460円分の切手を貼ってください。受講決定通知書（選考結果通知書）を送付するのに使用します。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、出願資格の確認及び志願者多数の場合に実施する選考に係る業務に使用します。

4 選考方法等

志願者多数の場合は、志望理由や提出書類を総合的に判断し判定します。

5 決定した履修生の発表

志願者には2月上旬頃に受講決定通知書（選考結果通知書）を郵送します。

なお、選考結果についての電話による問い合わせには、お答えいたしません。

6 科目等履修生の出願手続き

受講が決定した履修生は、教育学部等の科目等履修生になっていただく必要があります。

科目等履修生とは、本学の学生以外の者で、学部等が開設する授業科目の履修を志願する者があるときに与える学生身分のことです。科目等履修生として入学を許可された者は、単位を取得することができます。

(1) 手続方法

受講が決定した履修生には、特別の課程履修（入学）願書に記載されたe-mailアドレス宛に科目等履修生の出願書類をメールにて案内いたしますので、下記期間内に教務学生グループへ直接来学のうえ出願手続を行ってください。

(2) 出願手続期間

2026年2月12日（木）～19日（木）の予定

7 そ の 他

(1) 入学料・受講料

入 学 料 28,200円

受 講 料 年額 310,800円 [予定額]

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

※支払い済みの受講料は、受講状況に係わず返還しません。

※受講決定者には、入学料・検定料の納入方法について別途案内いたします。

(2) その他不明な点は下記へ照会してください。

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学教育学系教務学生グループ 電 話（086）251-7602
--